



2021 新春

0～100 歳超までの地域の共生の「結び目」となる



発行所 社会福祉法人四恩学園
児童養護施設・乳児院・診療所
るり保育園・乳児保育園・児童館
駅型（乳児保育園・ふれあいの館しおん）
地域密着型特別養護老人ホーム
住吉区東地域包括支援センター
honbu@shiongakuen.or.jp
http://www.shiongakuen.or.jp



発行人 中西 裕 発行日 令和 3 年 1 月 18 日 〒558-0011 大阪市住吉区荻田 4-3-9 電話 06-6607-2220 FAX 06-6696-5347 制作 広報委員会



四恩学園・たまみず園の子どもたちの絵馬



児童館の子どもたちの年賀状

子どもたちからのメッセージ

あしたに
向かってるり保育園の
子どもたちの年賀状

子どもたちは、元気で、SDGs（持続可能な開発目標）で、子どもたちの未来を応援しましょう。

初春のお喜びを 申し上げます。

巻頭言 「コロナを超えて」
理事長 中西 裕

「〇歳から百歳まで地域共生の結び目となる」これは二〇二二年に向けた四恩学園のビジョンです。しかし今回の新型コロナウイルスの猛威は「結び目」に必要な場所やコミュニケーションまで奪い取った感がありました。地域に開かれた「子ども食堂」や「こちゃまぜ食堂」は休止を余儀なくされました。

そんな中、昨秋には恒例の「四恩ふれあいフェスタ」をアウトリーチ型（現場出張サービス）へ急遽変更し「恩返しを倍返し」というキャッチコピーのもと開催。

職員と地域住民との協働に、大きな実りのある時間を過ごすことができました。未だコロナ終息は見えませんが、地域共生の「結び目」としてのあり方を模索してまいります。本年もご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

コロナ禍でのイベントを工夫 今、何ができるのか

0 歳～100 歳超の地域共生の「結び目」開催

第24回 四恩ふれあいフェスタ

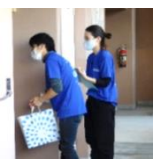


●乳児院職員
今年度はコロナ禍でのフェスタ開催という事で、例年の学園内に地域の方をお招きするのではなく、こちらからお伺いさせて頂く訪問をさせて頂きました。

乳児院の職員は、普段子どもとの関わりが主で高齢者との関わりも少なく、施設で受け入れられる側で訪問の経験も殆どない職員が多く、どう話していいのかわからない不安の中スタートしました。

しかし、包括や居宅専門の職員とのペアで、事前に色々と細かい説明をして下さり、実際に声掛けや関わる場面を見てリードして頂いて沢山の方とお話が出来ました。

人気の「おでん」や「かやくご飯」も販売しました。コロナ禍での「結び目」を体感した職員に、感謝を寄せてもらいました。



地域との
繋がりを
実感

11月3日（文化の日）恒例の「四恩ふれあいフェスタ」を開催。コロナ禍でなにかできるか実行委員会が知恵を絞って、ご近所の大阪市営対北住宅の自治会、ご近所のボランティアさんと一緒に、地域の清掃と草抜きを行ないました。

3密を避け青空紙芝居やバルーンアートを楽しみました。

人気の「おでん」や「かやくご飯」も販売しました。コロナ禍での「結び目」を体感した職員に、感謝を寄せてもらいました。



●保育園職員
自治会の方と段取りの打ち合わせから参加しました。お子さんお孫さんが保育園の卒園児ということもあり改めて四恩の歴史と繋がりを感じました。草抜きは良い運動になりました！終了後に「ありがとう。四恩さんにはお世話になってるわ。」

皆さんによろしく伝えてね。」と笑顔で話されていたのが印象的でした。

戦争の頃の体験談や日々の生活の様子、コロナに対する不安なども聞くことが出来ました。又、四恩学園を利用している方も多く、「今は利用していないが今後お願いしたいので頼りにしています」等のお言葉を頂き、地域での四恩学園の役割を再認識することが出来ました。

参加して下さった職員からは、「普段出来ない体験ができて新鮮だった。」「地域との繋がりの一環としても定期的に続けて欲しい。」等の感想も頂き、初めての試みのフェスタでしたが、とても実りのある時間だったと思います。

住み続けられる
街づくり

おでんをお届け



●乳児院職員
お家を訪問させて頂いた、初めてのことで不安でしたが、嬉しそうにお話をしてくださる方もおり、楽しい時間を過ごすことができました。イベントを通して地域の方々にもっと四恩学園を知っていただきたいと思っています。

貧困を
なくそう

こども食堂
毎週 火曜日
7:30～8:15
こちゃまぜ食堂
第4土曜日
休止の場合があります

地域創発スペース かりんTaハウス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しています。

- 夜な夜なヨガタイム（毎月第2・4火曜日）18:15～19:45
講師・桶谷 受講料 1回1,500円（初回のみ1,000円）
- 新宮ちぎり絵教室（毎月第3月曜日）13:00～15:00
講師・新宮 受講料 1回1,000円（材料費別）
- プリザーブドフラワー教室 講師 中川美奈子 1回5,000円
- 五・七・五の詩人部屋（俳句）（毎月第4水曜日）13:30～15:00
講師・米岡（杭俳句会代表）受講料 1回800円

地域創発スペース あびんCOハウス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部休止しています。

- 地域支援・地域連携
- 独居高齢者会食サービス
- こちゃまぜ食堂（若若）
- 子ども食堂・里親サロン
- らくご会
- 駄菓子屋さん
- 遊びフリースペース



一部冬眠中



保育園 便り

乳児保育園

運動あそび

今年の乳児の運動あそびは年齢・月齢別に行いました。場所も園庭・乳児園庭・テラスに保育室と様々。子ども達のかわいい姿、成長した姿を見ることが出来ました。



芋掘り

2歳児にとって今年度初めての園外保育となった「芋掘り」。



2歳児 保育園

食育 おやつが 2歳児(ももぐみ)の日

みんな「どうもこし」の皮むきをしました。皮をむく前は「なにかな?」と不思議そうな表情でしたが、むき始めると「あつ、どうもこし!」と指でツンツン触っていました。自分たちで皮をむいたのもうこし、とても美味しかったねえ。



うんとあそび

10月23日(金)に運動あそびをしました。

コロナ禍の中、密にならないようにクラス単位での実施となりましたが、みんな元気いっぱいにかっこやダンスを楽しんでいました。「がんばりましたのメダル」をもらうと「見てみて」とかわいいた顔で喜んでいました。



2歳児 保育園

12月5日土、るりホールにて生活発表会が行なわれました。人数制限や時間短縮など様々なコロナ感染予防対策の下、日頃の遊びから展開した、言葉遊びや劇あそびなどを元気に披露しました。緊張しながらも、観てもらえる嬉しい姿を全身で表現する頼もしい姿に、保護者の方々もたくさん拍手を送っていました。

第54回 生活発表会



るり・乳保、食育への取り組み

栄養士さんと話しをしながら、年間を通して2歳児からいろいろな食育活動に取り組みました。春、給食の献立に対しての食材をグループに分けて何の力になるかを教えてもらいました。

夏、野菜を育てました。交代で水やりをしたり、収穫したもの、味を味わいました。



秋、食べたものは身体の中へどうなるか「消化」について、分かりやすくエプロンシアターで話しました。小腸が5mあることを知った驚きの声と興味津々で見つめる目はキラキラと輝いていました。これからも、「食」に関わることでいろいろな関心を持つように保育の中に取り入れていきたいと思っています。



10月29日木、みんなで手作りの仮装をして「トリック・オア・トリート!」。園長先生たちからお菓子をもらいました。3時のおやつで楽しかったです。

ハロウィン パーティー



ふれ愛の館しおん 地域密着型特別養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染症発生で皆様からご支援を頂く「クラスター」対応を経て、

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、最前線で奮闘されておられる四恩学園特養へ応援に行っていました。

2020年12月30日

ラフサポート協会 門馬悠樹

私が応援に行ったフロアは、利用者・職員共にPCR検査で陰性結果が出ています4階の花ユニットという所です。

3階が感染フロアというところで、3階の職員だけ完全に別動線で、出勤する場所、更衣する場所、食事を食べる場所、完全に区分け(ゾーニング)されています。

現状、在宅で新型コロナウイルスが発覚した場合、濃厚接触者の方はPCR検査の結果、陰性であったとしても、検査結果後14日間の期間は、自粛期間として自宅から出ないようになっています。

これが特養で新型コロナウイルスが発覚した場合は、自宅ではなく特養から14日間出ないようになっています。

なので、3階フロア職員の皆さんは家に帰らず、四恩さんが手配したホテルに泊まり、そこから特養へ出勤するという対応をとられています。

ご家族がおられるご家庭においては、家族の顔を会って見ることでもできない心情をおもんばかります、精神的なストレスというのは甚大なものと容易に想像がつかしました。

災害対策本部

応援スタッフと



又、限られた空間、限られた関係性という閉塞感が生み出す生きづらさであったり、いつまでこうだった状態が続くのかという不安であったり、精神的に及ぼす影響というものは想像を絶するものとおもいました。最前線で奮闘されておられる皆さんに尊敬の念を抱くと共に、今の踏ん張りに対して報われることがあって欲しいと切に感じました。

実際、私が体験したことを紹介すると、まず特養に入ったら、健康管理簿が入り口玄関前に設置。特養職員全員の名前が記されており、検温・咳・鼻水・くしゃみ・倦怠感・嘔気・嘔吐とチェックがあり出勤時に記入して健康管理を回っておられました。もちろん、私もチェックをします。

防護服、ゴーグル、手袋着用で、1つの介護毎に手袋交換、手洗い、手指消毒を実施。コップにお箸、スプーンにフォーク等、口にするものは使い捨て対応。排泄介護後は、その都度アルコール消毒を実施。何回トイレ掃除したか覚えてられないくらいトイレ掃除や手指消毒をしました。

お年寄りの方に、「このような格好(防護服にゴーグル、手袋)で関わらせて頂いてごめんなさい」とお伝えすると、みなさん「こんな時期から仕方ないです」というお声でした。

暮らしの場である特養という場において、防護服にゴーグルというのは、本当に一瞬にして暮らしの場の雰囲気になくすと感じました。...

防護服は自分の身を護るための物というふうにつまえた際、職員だけが防護服を着てお年寄りは普段着というのも色んな感情を抱きました。

日常のあたりまえの大切さを考えさせられます。





地域のひろば



「本屋さんいぢおし」の40冊を寄贈頂きました。コロナ感染予防をしつつ毎週木曜、読書の日で夢中になって読みふけています。

読売新聞より
本の寄贈



毎週火曜、デイの皆さんと一緒に本気の卓球を楽しんでいます。



自分の家族に、心を込めて送りました。

●学童クラブ
年賀状作り

四恩子育て支援センター 1月~2月 プログラム

- 1月21日(木) (01歳児限定)
体を動かそう&カレンダー作り
1月22日(金)
体を動かそう&カレンダー作り
1月26日(火) 0歳児ブックスタート
1月27日(水) アロマで消毒ジェル作り
1月29日(水) ベビータッチケア
2月9日(火) 栄養士何でも相談コーナー
2月12日(金) 保健師何でも相談コーナー
2月16日(火) 歳児ブックスタート
2月17日(水) ベビータッチケア
2月24日(水) 小児保健講座
3月9日(火) 0歳児ブックスタート
3月17日(水) ベビータッチケア

詳しくは 06-6607-3311

専門職講座
栄養士、保健師、助産師、看護師、子育てコーディネーター等、専門の知識を持つ講師と親同士の交流をして「何でも相談」講座をしています。
子育ての楽しさを一緒に見つけましょう。

「何でも相談コーナー」
スケジュール

火~土 開館 10:00~15:00 日・月・祝 休館



エコバッグ
絞り染め講座

※自由来館も、当日、事前に予約ください。
※育児すくすく講座(月1、講師、情報交換の場、材料費がかかる場合もあり)は、前日まで。



アロマヘッドスパ講座



アロマハンド マッサージ講座

●幼児クラブ



手作り
おもちゃ



スライムづくり
触って楽しい、もんで
楽しい、創って楽しい
おもちゃ



栄養士何でも相談



クリスマスリース



10月17日土
あびこ商店街の100円市に出店しました。
あいにくの雨模様でしたが、住民の方々や四恩学園を知っていただき、顔見知りの方のお元氣そうな顔も見られて安心しました。
嬉しい活動でした。



あびこ商店街の100円市に参加



「コロナ禍で感染の不安と緊張の続く高齢者の皆さん、楽しい行事が少なくなったり、制約の多い生活になったりした子どもたち。
不安と使命感の間で緊張の続く職員にもほっとして欲しくて、コロナ終息を祈り、クリスマスイルミネーションを飾りました。」

鎮守の森に
12月になって初登場！
いやしのイルミネーション

電話
06-6607-2220
気軽に相談ください。

社会福祉分野は、働き方改革への対応や人手不足の解消に向けて、雇用のあり方について問われています。当法人では、地域雇用の推進並びに多種多様な働き方の実現に向けて、取り組みを始めています。子育てや介護真っ只中の方、高校生、大学生等の学生の方々、将来福祉専門職(保育、介護、調理等)として働きたい方など、福祉の仕事を通じて、地域貢献、地域の活性化を考えてみませんか。
保育・介護・調理など職員を募集しています。

採用情報
保育・介護・調理
職員を募集中！



乳児院では、「もしもの時の子どもたちの命を守るためひいては大事な人のもしもの時の命を守るため」に、毎月第3木曜日に蘇生訓練研修を行っています。
新入職員には3月末に講義1時間、演習1時間の受講(指導者は乳児院看護師2名)を受けてもらいます。
毎月消防署より蘇生訓練用の人形成人3体、小児1体、乳児4体、AED4台を借りてきて研修を行っています。
毎回30名ほどの参加があり、研修に参加できないときは乳児院の備品の乳児の人形で各自が練習します。必ず月に一度は蘇生訓練の演習を行います。
参加者は真剣な表情の中でお互いに刺激あい、教えあい、賑やかな研修になっています。

蘇生訓練研修 乳児院